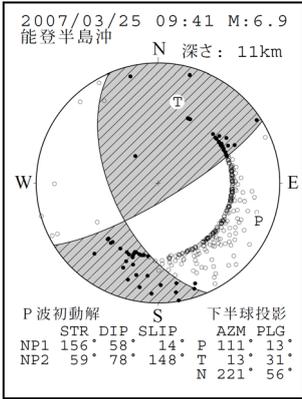


3月25日 能登半島沖の地震 (周辺の発震機構解の分布)

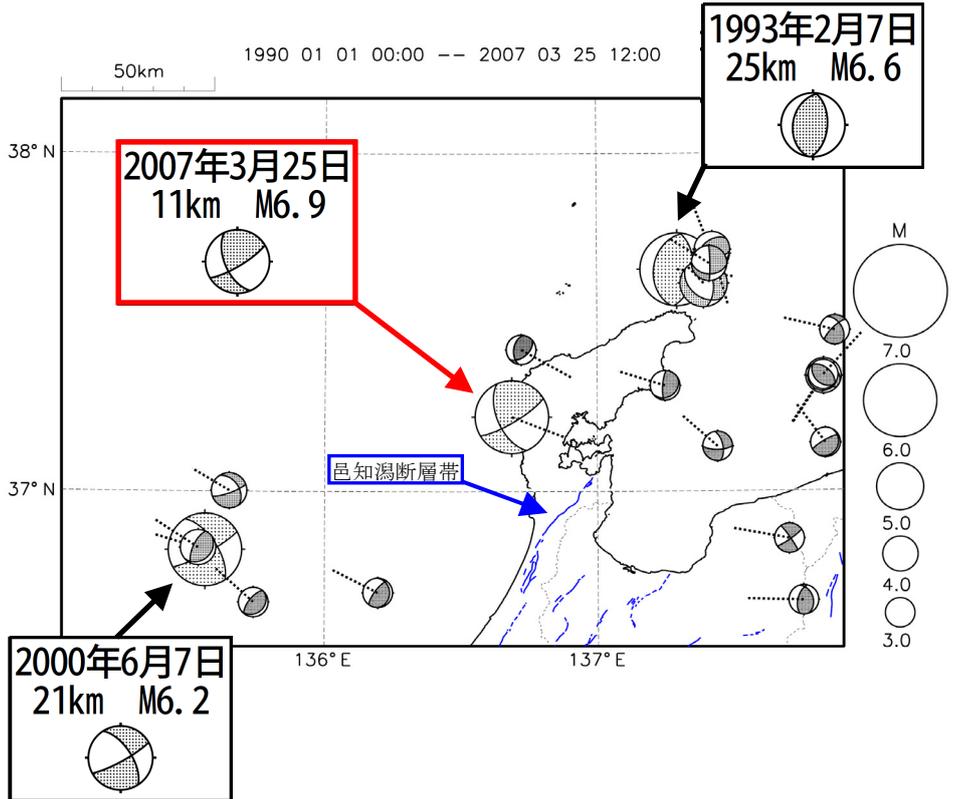
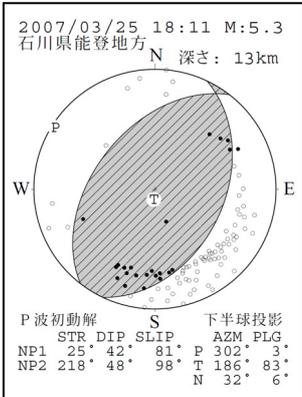
今回の地震の発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ型であった。余震分布から、南東に傾斜する面が断層面であると推測される。今回の地震の震源付近には呂知潟断層帯があるが、呂知潟断層帯は南東傾斜で南東側隆起の逆断層型と評価されている。

周辺の発震機構分布図 (1990年1月以降、M \geq 4.0)

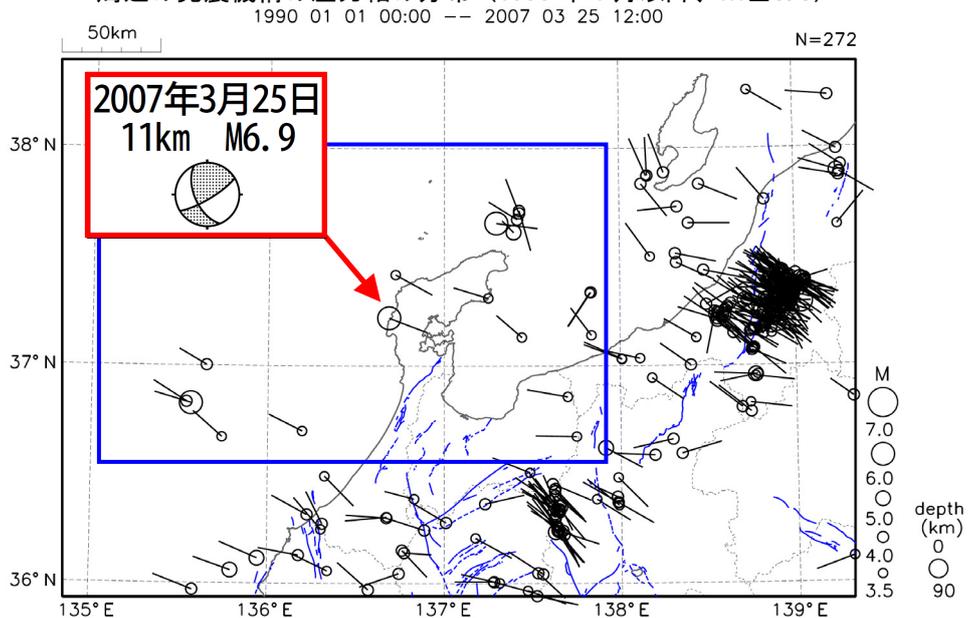
今回の地震の発震機構解 [本震]



[これまでの最大余震]



周辺の発震機構の圧力軸の分布 (1990年1月以降、M \geq 3.5)



[矩形は上図の発震機構分布図の領域を示す]